

2022年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
高崎歯科衛生専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“**Learning Together Thinking Together**”を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 教育活動

前年度同様に教育の質、学生サービスの向上を目的として、次の事項について重点的に教育活動を行った。

◇授業・実習内容の充実

- ・人間性教育・社会性教育の実践
- ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
- ・教育目標の明確化とキャリア教育
- ・国家試験・検定対策

◇退学防止対策

◇教員研修の実施

◇教育設備・備品の更新と拡充

(2) 学生募集活動

少子化をはじめ医療福祉系進学希望者の減少等により、年々厳しさを増しているが、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

◇広報媒体の活用

- ・学校のブランディング（特設ページ制作 等）
- ・学校ホームページ、パンフレットの活用
- ・SNS（Instagram）、テレビCMの活用
- ・進学情報サイトの活用

◇学生アプローチの充実

- ・学校のブランディング（企画やノベルティ等の作成）
- ・高校（会場）ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパス企画の充実（オンラインを含む）
- ・AO、オンライン、別会場入試の実施

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱 いているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など が学生・保護者等に周知されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

学校の理念や目的について「私たちの使命」や「私たちの約束」等に置き換え、スローガンやシンボルマークとして反映させた。高校生の興味・関心を得られるように前述のシンボルマーク等を活用して、広報活動に繋げていく必要がある。

② 今後の改善方策

①課題の通り、反映したスローガンやシンボルマークをノベルティグッズ等に活用することで、高校生との身近な接点をつくり学校のブランディングを果たしたい。

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 3 2 1 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 3 2 1 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 3 2 1 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 3 2 1 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 3 2 1 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 3 2 1 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 3 2 1 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 3 2 1 |

① 課題

教育面に限らず学生指導にあたる教員の意見が学校運営に多く反映されている。

課題としては、意思決定機能がマンパワーに依存するところがあるので、組織としてエスカレーションできるような運営組織をつくりたい。

② 今後の改善方策

健全な運営組織を構築する為には人材育成は欠かせないと考えている。若手層にあたる教職員にチャレンジの機会を与えることで、中長期の人材育成を行っていきたい。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------------------------|---|---|---|---|

① 課題

令和5年度施行のカリキュラムを見直したことにより、先端的な知識・技能等を修得できる授業展開となった。今後も学生が卒業し、即戦力として歯科医院等で働けるように学校のフォロー体制を築いていきたい。

② 今後の改善方策

新カリキュラムにより授業の進め方も変わる為、注意を払いたい。

③ 特記事項

特になし。

(4). 学修成果

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|---|-------------------------------|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 3 2 1 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 3 2 1 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 3 2 1 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 3 2 1 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 3 2 1 |

① 課題

国家試験合格率、学生の退学率については全教職員が拘りを持って取り組んでおり、高い成果を収めている。拘りを持って継続していきたい。

② 今後の改善方策

1年次の退学については入学前後のイメージギャップに影響される。募集の段階からリアルな情報提供をしていきたい。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

新型コロナウイルス対策に限らず学生の健康管理について緊張感を持って対応する。
また精神的に不安定となる学生も見られており、丁寧な対応を心掛ける必要がある。

② 今後の改善方策

教職員間での情報共有を密にしながら、早期対応を心掛けていく。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 |
|---|-----------------------------------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 3 2 1 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 3 2 1 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 3 2 1 |

① 課題

新校舎の完成に併せて最新の施設・設備を導入することができた。

最新の施設・設備を活用することで、さらなる教育効果や学生の満足度に繋がるよう教職員がハードの変更に逸早く順応し、機能の最大化に努めなければならない。

② 今後の改善方策

最新の施設・設備を活用した好事例や活用方法について学内で迅速に共有する。

③ 特記事項

特になし。

(7). 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 |
|------------------------------|-------------------------------|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 3 2 1 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 3 2 1 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 4 3 2 1 |

① 課題

令和5年度入学者における募集定員が充足した為、今後はより意欲の高い学生を獲得するべく、学生募集活動の運用面を検討しなければならない。

② 今後の改善方策

前年度はコンテンツの制作に注力してきたが、オープンキャンパス開催時期やAO入試の運用を検討することにより、精度高く募集活動を行っていきたい。

③ 特記事項

特になし。

(8). 財務

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

財務内容は安定しているが、情報公開体制の整備ができていないことが現状である。
学生募集活動に影響を受けない、適切な投資先を金融商品に限らず検討していきたい。

② 今後の改善方策

①課題の通り、情報公開の体制整備、投資先の検討を進めていきたい。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1 | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

自己評価で報告した各課題への解決に取組み、翌年の自己評価で改善報告するという良いサイクルができている。

② 今後の改善方策

重要度の高いことや改善が急務であることについて学内のプロジェクトを設置し、学園全体での課題認識や問題共有を進めながら課題解決をしていきたい。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

様々な理由から地域貢献やボランティア活動を学校として推進、支援できていない。

② 今後の改善方策

新校舎の完成に伴い、早速近隣の皆様から学内施設（ホール、屋上等）の利用希望の声をいただいている。積極的に開放していくことで地域貢献を推進していきたい。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

| 評価項目 | 適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

留学生は在籍していないが、今後に向けてのサポート体制は整えておきたい。

② 今後の改善方策

留学生のサポートは、担当部署の留学生センター内に語学堪能な職員を配置している。

国家試験や就職に向けて語学力の課題こそあるが、入学希望者を受け入れられるように体制の維持に努めたい。

③ 特記事項

特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

文部科学省から提示されている学校評価ガイドラインに沿い、自己点検・自己評価を行った。学校運営を教育的、募集的、財務的等、様々な観点から見る事ができた。

今年度は特に、時間をかけて準備をしてきたことが結実した年度と言える。

具体的には、最新の施設・設備を有した新校舎が完成を迎えたこと、新しいカリキュラムの見直し等が挙げられる。

新校舎、施設・設備からは教育効果や学生満足度の向上を期待することができ、新しいカリキュラムには最新の施設や設備に対応させたことにより、学生が卒業後に即戦力として医療現場で活躍することへの期待ができる。その期待や効果について当評価にも反映させている。

この変化から教育活動、募集活動等、多方面においての影響が生じてくるが、前述の期待に沿うような学校運営をしていきたい。また当評価により新たに浮上した課題や改善方策についても早急に対応する。

今後も引続きガイドラインを参考にしながら、それぞれの分野や学校に適した自己点検・自己評価を行っていくことで、適正な学校運営を行っていきたい。

以上